

国立大学法人島根大学学長選考会議（第5回）＜議事要録＞

日 時 平成29年12月7日（木）10:00～12:10, 13:00～14:40
場 所 本部棟3階 特別会議室
出席者 有川委員, 泉委員, 有澤委員, 近藤委員, 大谷委員, 大矢委員
田坂委員（法文学部長）, 小川委員（教育学部長）, 並河委員（医学部長）,
村瀬委員（人間科学部長）, 井藤委員（生物資源科学部長）,
廣光委員（総合理工学研究科長）
欠席者 なし
〔陪席者：千家監事, 総務部長, 総務課長, 総務・秘書グループリーダー〕

議 題

1. 学長の選考について

意向調査管理委員会の廣瀬委員長から、資料に基づき意向調査の投票結果について報告があった。

次に、同委員長から今回の意向調査に係る意向調査管理委員会から、意向調査細則の改正が必要な事項として次の提案があった。

- ・意向調査細則の改正が必要な事項
 - ① 委員会の委員数について松江キャンパスの各学部は2名となっているが、人間科学部は教員数が少ないため、1名とすること
 - ② 不在者投票の手続きが煩雑であるため、意向調査管理委員会の承認を廃止すること
- ・その他の事項
 - ③不在者投票について、実施方法を簡略化し、不在者投票の申出期限を設定すること。

議長から、要望事項については次回以降の学長選考会議において検討することとしたい旨の提案があり、議決された。

続いて、学長候補適任者の大平明弘氏と服部泰直氏から、所信表明書及び参考資料により、プレゼンテーションの後、質疑応答を行った。

その後、審議の結果、学長選考会議は次の選考理由により、服部泰直氏を次期学長候補者として選考した。

（選考理由）

学長選考会議が決定した「島根大学学長に求められる資質・能力、行動戦略、対応すべき課題」を示し、次期学長候補適任者とした大平 明弘氏、服部 泰直氏に対し、次期学長候補者としての選考を行った。

両氏の所信表明書、立会演説会における説明及び質疑応答の内容を確認するとともに、各候補適任者に対する面接を行い、島根大学を学長として経営していくにあたっての考え方を聴取した。

これらの結果、学長選考会議は、島根大学学長に求められる資質・能力を有し、行動戦略を

推進し、対応すべき課題に継続的に取り組める最適任者として 服部 泰直氏を全会一致で次期学長に選考した。

事務局から選考結果を学内構成員へ公示するとともにメール及びホームページ掲載により周知し、学外へも同様の内容をホームページに掲載することについて説明があった。

委員から意向調査結果については、選考の参考とするものなので、学外に向けては公表しなくても良いとの意見があり、学外向けHPには掲載しないが、記者発表等で問合せがあれば、応じることとされた。

議長から、選考結果を学長及び候補者へ説明し、16時に学内外に公表することが報告された。

2. 学長の業務執行状況の確認について

次回の学長選考会議で実施する業務執行状況の確認のための学長及び監事への依頼文書の内容について事務局から説明があり、原案どおり議決された。